

「素晴らしい救い主」マタイ3：13-4：11 12・6・17

I 悪魔の3つの誘惑に対する救い主イエス様の応答 1. 悪魔の誘惑：①「あなたが神の子なら、この石がパンになるように、命じなさい」：3。あなたが、神の子、メシヤ、救い主ならパン、物質的な物で人を救えという誘惑。イエス様は、本当に神の子、神ご自身だったので、石をパンに変える奇跡を起こすことは簡単だった。しかし、御自身の力を人々に見せて、世の人々に人気のある救い主になることをされなかった。私達人間に真の救い（罪の赦し、新しい命、永遠の命）を与えるために、私達の身代わりに苦しむ十字架の道を選ばれたのです。イエスは答えて言われました。『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる』と書いてある」：4。この御言葉の意味は、人はパン（肉体の為の食物）を必要としないという意味ではありません。人は、パンを必要とします。体を造られたのは神ですから、神は、太陽、雨を与え食物が育つようにされるのです。「私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください」6：11と祈るように教えられました。と同時に、私達は、肉体だけではなく、霊、魂、心を与えられていますから、霊、魂、心の食物、栄養の為に、神の一つ一つの御言葉の必要を教えられたのです。心は目に見えませんが、やせ細っているとわかりませんが、心に毎日霊的な栄養を与える事がどうしても必要です。その真の栄養が聖書です。毎日聖書の御言葉を読み、味わう時、心を強められ養われていきます。②悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神殿の頂に立たせて、言いました。「あなたが神の子なら、下に身を投げてみなさい。『神は御使いたちに命じて、その手にあなたをささえさせ、あなたの足が石に打ち当たることのないようにされる』とも書いてありますから」5, 6。第二の誘惑は、人々の注目を浴び、大きな称賛を得る何かをして見せること。イエス様は、人々から称賛を得る道ではなく、正しいゆえに人気落ちて、人々からののしられ、あざけられても、真に正しい道、御父に従う道、私達を愛して私達の罪（不品行、汚れ、好色、憎しみ、恨み、悪口、陰口、ねたみ、不正、ごまかし、嘘）を負って十字架につけられる道を選ばれました。素晴らしい救い主。③今度は悪魔は、イエスを非常に高い山に連れて行き、この世のすべての国々とその栄華を見せて、言った。「もしひれ伏して私を拝むなら、これを全部あなたに差し上げましょう」：8, 9。第3の誘惑は、この世の栄華、権力への誘惑。しかし、イエス様は、その誘惑を退けられた。この世の栄華、権力によるのではなく（御自身は神であり十分力を持っておられたが）、苦難のしもべとして御父に従い私達の為の十字架の道を歩まれた。私達ならどうしたことだろう。素晴らしい救い主であるイエス様は、御自身の力を自分勝手に使われることはなく、御父と私達への愛と思慮分別（それが神のみこころにかなうことかの分別）をもって用い

られた。Ⅱ悪魔の誘惑からイエス様を助けた3つのもの。1. 御聖霊→3：16、4：1。2. 御言葉。イエス様は、3つの誘惑に対して、3度とも、聖書に「…と書いてある」と、御言葉で対戦し勝利された。：4，7，10。3. 父なる神の変わらない豊かな愛。天からこう告げる声が聞こえた。「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ」3：17。イエス様は、何かをすることで、父なる神の愛を得ようとする必要はなかった。すでに十分に御父に愛されていたので、悪魔の誘惑に振り回されなかった。

Ⅲ私達への励まし。主を信じる私達にも御聖霊と、御言葉と神の愛が与えられ続ける。

1. 御聖霊。「天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さらないことがありますでしょう」ルカ11：13。2. 御言葉。「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です」Ⅱテモテ3：16。日々聖書を読み心に蓄えましょう。御言葉は、私達の心を強め励まし、悪の誘惑に気づかせ勝たせて下さる。聖書の御言葉は、私達の心の糧、聖なる力です。3. 私達の状態により左右されない、変わらない神の愛。「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」イザヤ43：4。神は、私達の何か（手柄、功績）ではなく、私達の存在そのものを愛し、高価で尊いと言われる。この真の愛を得る為に競争する必要はない。神は、あなた自身を愛しておられる！この世では、人々は愛を得る為に、自分の力を示す事、人の歡心を買う、人気を得る事、権力を得る事を求めて活動させようとする。しかし、その結果、真の愛、真の心の満たし、安らぎは得られない。私達にとって大切な問いは、「自分は何者か」という問い。私達が自覚しないまま縛られているその答え（価値観）は→「自分とは、自分の行った事だ」「自分とは、他人からどう見られているかだ」「自分とは、自分の所有しているものだ」。言い換えると「自分の価値は、成功しているか？人気があるか？力と多くの物を所有しているか？だ」。人の目に映る成功、人の人気、権力に左右される人生はもろい。成功、人気、権力は、非常に不安定なもので、それらに頼るなら、私達は自分の魂をこの世に売り渡していることになる。死は、それらすべてを取り去る。主は、私達に、成功、人の人気、権力に頼る自分は、偽りの自分であり幻想だと教えられる。この世の基準で自分の価値を図るのは間違っている。私達の価値の土台は、神が私達を愛と計画を持って造られた事実。私たちの命は、神から与えられた大切な命。神は、ひとり子イエス様をお与えになったほど、私達は神に愛されている存在。神にとってあなたは大切な存在。「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのち（永遠に救われ神に愛され、神を知り続け、神と交わることができるいのち）を持つためである」ヨハネ3：16

